

児童100人 プログラミング競う



決勝戦でプログラミングの技術を競う小学生
＝県庁（荒木勝郎撮影）

4種目の優勝者 来月の全国大会へ

来年度から全国の小学校で必修化される「プログラミング」の技能などを競い合う「Gリーグ ヤマハ 発動機プログラミングコロシアム2019 令和記念大会」の県予選大会が9、10日の2日間、長崎市尾上町の県庁1階の特設会場であった。ドローンバトルなど各4種目の優勝者

は、全国大会(12月22日)に出場する。小学3～6年生約100人が参加。ロボットや小型無人機「ドローン」を、専用ソフトでプログラミングし、より早く正確に動かすことができるかなどを競った。市立西浦上小3年の濱田龍星君(9)は「難しかったけど、おもしろ

かった。プログラミングにもっと興味が出た」と話した。

一般社団法人「Gリーグ」主催。共催は佐世保工業高等学校。地区協賛はNITTOKU、NDKC OM、オフィスメーション、福祉ソフト。(久林幸平)

各種目の優勝者は次の通り。(敬称略)
▽スクラッチバトル 内海舜平(長崎市立南長崎小5年)▽メイクコードバトル・マイクラフト 丸田和来(佐世保市立日野小6年)▽ドローンバトル 尾上琥太郎(長崎市立桜が丘小3年)▽ロボットバトルロイヤル 橋口渉(同市立小島小5年)